



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月3日

上場取引所 東

上場会社名 京浜急行電鉄株式会社

コード番号 9006 URL <http://www.keikyu.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 石渡 恒夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 廣川 雄一郎

TEL 03-3280-9135

四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	67,188	△9.0	2,739	△49.1	1,210	△68.8	102	△91.9
23年3月期第1四半期	73,798	1.9	5,387	16.1	3,883	31.1	1,275	△26.9

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △132百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 641百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	0.19	—
23年3月期第1四半期	2.31	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
24年3月期第1四半期	971,725		183,512		18.8	
23年3月期	982,104		185,323		18.8	

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 183,099百万円 23年3月期 184,894百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	140,400	△6.4	6,400	△46.2	3,100	△64.5	500	△83.4	0.91
通期	295,000	△1.6	14,300	△26.7	7,600	△43.3	2,000	△71.6	3.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	551,521,094 株	23年3月期	551,521,094 株
24年3月期1Q	172,024 株	23年3月期	169,000 株
24年3月期1Q	551,350,158 株	23年3月期1Q	551,402,331 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

(参考)

平成 24 年 3 月期の個別業績予想 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	108,400	3.1	1,600	△72.2	4,600	22.8	8.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
3. 補足情報 .....	10
【第1四半期連結損益計算書（前年同期比較）】 .....	10
【セグメント情報（前年同期比較）】 .....	11
【鉄道運輸成績】 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）のわが国経済は、東日本大震災とそれに伴う電力の供給不足、さらには原子力発電所の損壊に伴う放射線漏洩の影響などにより、経済の混乱や消費者心理の冷え込み等が発生し、期首に景気が大幅に悪化しました。その後、景気は徐々に回復に向かいつつありましたが、引き続き厳しい事業環境が続くなか、当社グループは、公共交通機関をはじめとしたライフラインを担う企業集団として各事業において積極的に節電を図りながら、引き続き安全・安心、良質なサービスの提供に努めました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は671億8千8百万円（前年同期比9.0%減）、営業利益は27億3千9百万円（前年同期比49.1%減）、経常利益は12億1千万円（前年同期比68.8%減）、四半期純利益は1億2百万円（前年同期比91.9%減）となりました。

次に、セグメント別の業績についてご報告いたします。

### 交通事業

東日本大震災による事業所の一時休業や大学の授業期間の変更等があったほか、航空旅客の激減、レジャー自粛による出控えなど非常に厳しい事業環境となりました。

このようななか、鉄道事業では、一部区間における電車運行本数の削減を実施するなど限られた電力供給のもと、節電を図りながら公共交通機関としての社会的使命を果たすべく、安定輸送の確保に努めました。また、沿線地域の活性化を図るため、空港線沿線をはじめとした地元自治体等と協力し企画商品を販売するなど、旅客誘致に努めました。

さらに、引き続き安全対策を最重要課題とし、連続立体交差化工事を進め、京急蒲田駅付近では高架化工事を、大師線では地下化工事を推進しました。このほか、高架橋耐震補強工事や、踏切道防護システムの導入を進めました。

乗合・貸切自動車事業では、京浜急行バス(株)と川崎鶴見臨港バス(株)は共同で、横浜駅～浮島線の運行を開始したほか、横浜駅～東扇島線を増発するなど、通勤の利便性向上を図りました。

タクシー事業では、PASMO電子マネーの導入を進め、利便性の向上を図りました。

以上の結果、交通事業の営業収益は276億1千万円（前年同期比4.5%減）、営業利益は25億9百万円（前年同期比46.6%減）となりました。

なお、京浜急行バス(株)は、羽田空港へのアクセス向上を図るため、7月に羽田空港～富士山駅（旧富士吉田駅）線および横浜駅・羽田空港～軽井沢駅前線の運行を開始しました。

### 不動産事業

東日本大震災により不動産市況が悪化するなど厳しい事業環境のなか、将来に向け事業計画を見直すとともに、積極的な営業活動に努めました。

不動産販売業では、他社と共同で、地震や強風による揺れを大幅に減少させる制振構造を採用した大規模分譲マンション「リヴァリエ」の建設工事を進め、7月から販売を開始しました。また、当社および京急不動産(株)は、「パームヒルズ京急富岡」分譲地等の販売を行いました。さらに、京急不動産(株)は、引き続き分譲マンション「湘南藤沢ミッドレジデンス」を他社との共同事業により販売しました。

不動産賃貸業では、オフィスビルの賃料相場の下落が続く厳しい事業環境のなか、当社は、施設の資産価値向上を図り、高稼働率の維持に努めました。

以上の結果、前年同期に横須賀リサーチパークの研究所用地等を販売した反動もあり、不動産事業の営業収益は49億6千1百万円（前年同期比21.5%減）、営業利益は2億8千8百万円（前年同期比62.2%減）となりました。

#### レジャー・サービス事業

東日本大震災により海外からの訪日旅客が激減するなど、ホテル業を中心にレジャー需要が大幅に減少し、非常に厳しい事業環境となりました。

このようななか、ホテル業では、ホテル グランパシフィック LE DAIBAは、顧客ニーズにあわせた宿泊プランの提供や、客室の改装を行うなど、新規顧客の獲得に努めました。また、当社は、前年9月に閉館したホテルパシフィック東京を改装し、「京急EXイン 品川駅前」および飲食店舗や貸会議室、宴会施設などのテナントが集積する複合施設「SHINAGAWA GOOS」として開業しました。

以上の結果、レジャー・サービス事業の営業収益は84億9百万円（前年同期比20.9%減）、営業損失は7億1千7百万円（前年同期は営業損失3億4百万円）となりました。

#### 流通事業

東日本大震災により一部商品の確保が困難となったほか、計画停電により店舗の営業時間が制限されるなか、百貨店やストアなどでは、地域の方々の生活を支える企業として、商品の安定供給に努めました。

百貨店業では、(株)京急百貨店は、新規テナントの誘致等を行い、新規顧客の創出を図りました。

ストア業では、(株)京急ストアは、前年12月に開業した新川崎店が好調に推移しました。また、ユニオネックス株は、「もとまちユニオン本店」の建替工事を進め、8月に開業いたします。

物品販売業では、(株)京急ステーションコマースは、前年10月に開業した「セブン-イレブン京急ST羽田空港国際線ターミナル店」が好調に推移したほか、引き続き駅売店のセブン-イレブンへの転換を推進しました。

以上の結果、流通事業の営業収益は266億5千1百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益は3億4百万円（前年同期は営業損失3千6百万円）となりました。

#### その他

京急建設(株)および京急電機(株)は、引き続き鉄道の安全対策工事を行いました。

しかしながら、京急電機(株)で前年同期に大型工事を竣工したことの反動などにより、その他の事業の営業収益は88億8千万円（前年同期比14.7%減）、営業利益は3億6百万円（前年同期比38.1%増）となりました。

#### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少などにより前連結会計年度末と比べ103億7千9百万円減少しました。

負債は、借入金の減少などにより前連結会計年度末と比べ85億6千9百万円減少しました。

また、純資産は、四半期純利益による増加はありましたが、剰余金の配当などにより前連結会計年度末と比べ18億1千万円減少しました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境は、東日本大震災とそれに伴う電力供給不足の影響等により、引き続き厳しい状況が続くものと予想されます。

連結業績予想については、今後の個人消費動向など経済情勢の先行きは未だ不透明ではありますが、第1四半期までの業績等を踏まえ見直しを行った結果、平成23年5月11日に公表した平成24年3月期第2四半期累計期間および通期の連結業績予想を上回る見通しとなりましたので以下のとおり修正いたします。

なお、本日（平成23年8月3日）、別途「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。

## 平成24年3月期第2四半期（累計）連結業績予想値の修正

(単位：百万円)

	前回発表予想	今回修正予想	増減額
営業収益	137,600	140,400	2,800
営業利益	2,800	6,400	3,600
経常利益	△800	3,100	3,900
四半期純利益	△2,200	500	2,700

## 平成24年3月期通期連結業績予想値の修正

(単位：百万円)

	前回発表予想	今回修正予想	増減額
営業収益	292,600	295,000	2,400
営業利益	11,800	14,300	2,500
経常利益	4,900	7,600	2,700
当期純利益	1,000	2,000	1,000

## 2. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	57,030	43,381
受取手形及び売掛金	10,881	10,192
商品及び製品	2,548	2,650
分譲土地建物	85,272	86,741
仕掛品	2,845	2,533
原材料及び貯蔵品	575	608
繰延税金資産	2,180	2,485
その他	6,366	8,261
貸倒引当金	△123	△118
流動資産合計	167,577	156,736
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	295,217	297,848
機械装置及び運搬具(純額)	42,563	41,645
土地	148,297	148,850
建設仮勘定	236,905	235,433
その他(純額)	6,998	7,334
有形固定資産合計	729,982	731,113
無形固定資産		
のれん	4,629	4,324
その他	6,236	6,137
無形固定資産合計	10,866	10,462
投資その他の資産		
投資有価証券	33,749	33,313
長期貸付金	2,520	2,435
繰延税金資産	12,189	12,684
その他	25,454	25,213
貸倒引当金	△236	△234
投資その他の資産合計	73,677	73,412
固定資産合計	814,526	814,988
資産合計	982,104	971,725



(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,250	27,141
短期借入金	146,139	141,301
コマーシャル・ペーパー	18,000	25,000
1年内償還予定の社債	202	202
未払法人税等	3,707	1,292
繰延税金負債	—	13
前受金	4,837	5,547
賞与引当金	1,193	1,717
役員賞与引当金	145	—
その他	25,510	26,232
流動負債合計	231,986	228,448
固定負債		
社債	90,566	90,489
長期借入金	277,043	268,576
繰延税金負債	619	642
退職給付引当金	5,719	5,838
役員退職慰労引当金	693	641
長期前受工事負担金	161,162	165,148
その他	28,990	28,427
固定負債合計	564,795	559,763
負債合計	796,781	788,212
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,738	43,738
資本剰余金	44,157	44,157
利益剰余金	97,832	96,281
自己株式	△122	△123
株主資本合計	185,607	184,054
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△713	△954
その他の包括利益累計額合計	△713	△954
少数株主持分	429	413
純資産合計	185,323	183,512
負債純資産合計	982,104	971,725

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
営業収益	73,798	67,188
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	59,637	55,780
販売費及び一般管理費	8,774	8,667
営業費合計	68,411	64,448
営業利益	5,387	2,739
営業外収益		
受取利息	28	32
受取配当金	207	215
持分法による投資利益	104	113
その他	392	187
営業外収益合計	732	549
営業外費用		
支払利息	1,990	1,947
その他	245	131
営業外費用合計	2,236	2,079
経常利益	3,883	1,210
特別利益		
工事負担金等受入額	102	47
特別利益合計	102	47
特別損失		
投資有価証券評価損	212	214
固定資産圧縮損	102	47
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	691	—
特別損失合計	1,006	261
税金等調整前四半期純利益	2,979	996
法人税、住民税及び事業税	1,862	1,533
法人税等調整額	△169	△645
法人税等合計	1,693	887
少数株主損益調整前四半期純利益	1,286	108
少数株主利益	10	6
四半期純利益	1,275	102

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,286	108
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△644	△241
その他の包括利益合計	△644	△241
四半期包括利益	641	△132
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	631	△138
少数株主に係る四半期包括利益	10	6

## (3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	交通事業	不動産事業	レジャー ・サービス 事業	流通事業	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
営業収益								
外部顧客への営業収益	28,434	4,719	9,617	26,097	4,929	73,798	—	73,798
セグメント間の内部営業収益又は振替高	487	1,601	1,018	496	5,482	9,086	△9,086	—
計	28,922	6,320	10,635	26,594	10,411	82,885	△9,086	73,798
セグメント利益又は損失(△)	4,697	763	△304	△36	222	5,342	44	5,387

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設・土木・電気設備の工事、輸送用機器の修理・改造、ビル管理業務等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの営業収益および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	交通事業	不動産事業	レジャー ・サービス 事業	流通事業	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
営業収益								
外部顧客への営業収益	27,165	3,369	7,317	26,128	3,207	67,188	—	67,188
セグメント間の内部営業収益又は振替高	444	1,591	1,092	523	5,673	9,325	△9,325	—
計	27,610	4,961	8,409	26,651	8,880	76,513	△9,325	67,188
セグメント利益又は損失(△)	2,509	288	△717	304	306	2,691	47	2,739

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設・土木・電気設備の工事、輸送用機器の修理・改造、ビル管理業務等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

## 【第1四半期連結損益計算書(前年同期比較)】

	前第1四半期 連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
I 営業収益	73,798	67,188	△6,610	△9.0
II 営業費	68,411	64,448	△3,963	△5.8
1. 運輸業等営業費及び売上原価	59,637	55,780	△3,857	△6.5
2. 販売費及び一般管理費	8,774	8,667	△106	△1.2
営業利益	5,387	2,739	△2,647	△49.1
III 営業外収益	732	549	△183	△25.0
1. 受取利息	28	32	4	14.7
2. 受取配当金	207	215	8	3.9
3. 持分法による投資利益	104	113	9	9.2
4. その他	392	187	△205	△52.3
IV 営業外費用	2,236	2,079	△157	△7.0
1. 支払利息	1,990	1,947	△43	△2.2
2. その他	245	131	△114	△46.4
経常利益	3,883	1,210	△2,673	△68.8
V 特別利益	102	47	△54	△53.6
1. 工事負担金等受入額	102	47	△54	△53.6
VI 特別損失	1,006	261	△745	△74.0
1. 投資有価証券評価損	212	214	1	0.5
2. 固定資産圧縮損	102	47	△54	△53.6
3. 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	691	—	△691	△100.0
税金等調整前四半期純利益	2,979	996	△1,982	△66.6
法人税、住民税及び事業税	1,862	1,533	△329	△17.7
法人税等調整額	△169	△645	△475	—
法人税等合計	1,693	887	△805	△47.6
少数株主損益調整前四半期純利益	1,286	108	△1,177	△91.5
少数株主利益	10	6	△4	△43.9
四半期純利益	1,275	102	△1,172	△91.9

## 【セグメント情報(前年同期比較)】

	前第1四半期 連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
交通事業				
営業収益	28,922	27,610	△1,312	△4.5
営業利益	4,697	2,509	△2,188	△46.6
不動産事業				
営業収益	6,320	4,961	△1,359	△21.5
営業利益	763	288	△475	△62.2
レジャー・サービス事業				
営業収益	10,635	8,409	△2,226	△20.9
営業損失(△)	△304	△717	△413	—
流通事業				
営業収益	26,594	26,651	57	0.2
営業利益又は営業損失(△)	△36	304	341	—
その他				
営業収益	10,411	8,880	△1,531	△14.7
営業利益	222	306	84	38.1
合計				
営業収益	82,885	76,513	△6,372	△7.7
営業利益	5,342	2,691	△2,650	△49.6
調整額				
営業収益	△9,086	△9,325	△238	—
営業利益	44	47	3	7.0
四半期連結損益計算書計上額				
営業収益	73,798	67,188	△6,610	△9.0
営業利益	5,387	2,739	△2,647	△49.1

## 【鉄道運輸成績】

科 目	前第1四半期 連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
旅客運輸収入				
定期	7,610	7,495	△114	△1.5
定期外	11,080	10,461	△618	△5.6
計	18,690	17,957	△732	△3.9
輸送人員	千人	千人	千人	%
定期	63,627	62,591	△1,036	△1.6
定期外	48,465	45,848	△2,617	△5.4
計	112,092	108,439	△3,653	△3.3